

第9回 防災・危機管理人材養成シンポジウム ～災害・危機対応マネージャーの活動報告～

現場から考える！福祉施設のBCP ～取り組み編～



医）新心会 介護老人保健施設 悠心館
支援相談員兼次長

（災害・危機対応マネージャー，防災士）

青木 正繁

プロフィール

医療法人新心会

介護老人保健施設 悠心館（新野町）

支援相談員

認知症キャラバン・メイト

災害・危機対応マネジャー（1.5 期生）

阿南防災士の会 副会長

NPO法人 災害・危機対応支援センター監事

B・FM791 ラジオパーソナリティ

徳島人

仕事しながら3年間頑張り
四国防災PG卒業！



PG 2期生の皆さんと
成果発表



徳島県老人保健施設大会
リスクマネジメント部門



認知症キャラバン・メイト表彰
(H27シルバー、H28、H29ブロンズ)

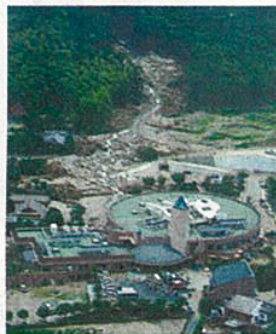


土砂や浸水 相次ぐ悲劇

災害による高齢者施設の主な被害

2009年 7月

豪雨で山口県防府市の特別養護老人ホーム「ライフケア高砂」が土砂被害に見舞われ入所者7人が死亡



16年 8月

岩手県岩泉町の高齢者グループホーム「楽ん楽ん」(写真左上)が、台風の影響で近くの川が氾濫し浸水。入所者9人全員が死亡



20年 7月

豪雨で熊本県球磨村の特別養護老人ホーム「千寿園」が氾濫した川の濁流で浸水。入所者14人が死亡



10年 10月

豪雨で鹿児島県奄美市のグループホーム「わだつみ苑」が浸水。入所者2人が犠牲に



19年 10月

台風で川の堤防が決壊し、埼玉県川越市の特別養護老人ホーム「川越キングス・ガーデン」と隣接するケアハウスが浸水。入所者ら計約200人が孤立したが、全員無事救助された



高齢者施設被害を受けた国の対応

2016年 8月 岩手県の高齢者グループホーム「楽ん楽ん」で入所者9人死亡

17年 6月

改正水防法と 改正土砂災害防止法施行

高齢者施設や病院に避難計画作成、避難訓練実施を義務付け

20年 7月

熊本県の特別養護老人ホーム「千寿園」で入所者14人が死亡

21年

「流域治水」関連法案提出

浸水リスクが高い場所への住宅、高齢者施設の建築に許可制を導入。また、高齢者施設などの避難態勢が不十分な場合、自治体が施設管理者に助言、勧告

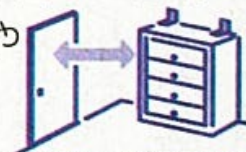
通常国会

在宅高齢者の防災準備

災害時の備え（在宅高齢者の場合）

家具

壁に固定し、寝室や
出入り口にはなるべく置かない



食料、水

人数分を「3日分」用意
（大規模災害は「1週間分」）が望ましい



持ち出し
バッグ

水や食料、衣類などを
詰めておく。持病の薬や健康保険証も



避難計画

ハザードマップの確認と
災害の種類に応じて避難場所やルートを把握。
家族や地域とも相談



参考：徳島新聞 2021.2.19

活動開始に向け

福祉施設の B C P 策定に向けて

- 災害・危機対応マネージャーとして必要な活動とは何か
- 目標・目的をどうするのか
- いつ・どのように活動するのか
- 福祉施設の B C P 普及活動をどうするのか

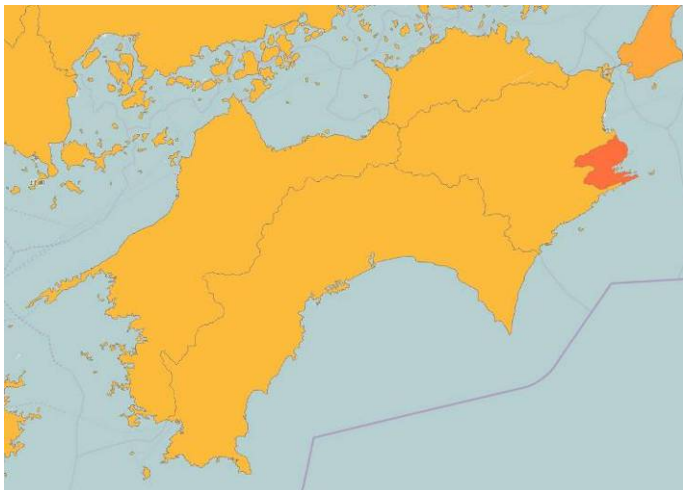
目的・目標の設定

目的

- 災害発生時、多職種共同でそれぞれの役割を発揮する。

目標

- 多職種が共同で初動対応に必要な知識・技術を習得する。
- 全職員で様々な災害対策を行う。



四国の右下
徳島県阿南市
人口7万5千人
LED発祥の地



企業概要

種 類	内 容
社 名	医療法人 新心会
所在地（本社）	徳島県阿南市新野町信里6-1
業 種	医療・介護
事業内容	有床診療所（外来19床）・介護老人保健施設（60床）併設型 在宅サービス（通所リハ26名）（訪問看護ステーション24H対応）
従業員数	50名
創 業	1980年
拠 点	徳島県阿南市新野町

※ 徳島県内 診療所併設型 老健 8/52（自施設含む）
全国 502/3586 14%構成比

■施設サービス ※要支援1・2の人は利用できません。

施設に入所して利用するサービス

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）



要介護1～5の人

常時介護が必要で居宅での生活が困難な人が入所して、日常生活上の支援や介護が受けられます。

■サービス費用のめやす（1日）

多床室の場合

要介護1～5 ▶ 5,470円～8,140円

※新規入所できるのは、原則として要介護3～5の人です。

介護老人保健施設（老人保健施設）

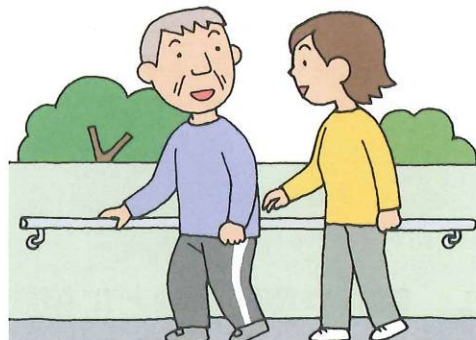
要介護1～5の人

状態が安定している人が在宅復帰できるよう、リハビリテーションや介護が受けられます。

■サービス費用のめやす（1日）

多床室の場合

要介護1～5 ▶ 7,680円～9,810円



介護療養型医療施設（療養病床等）

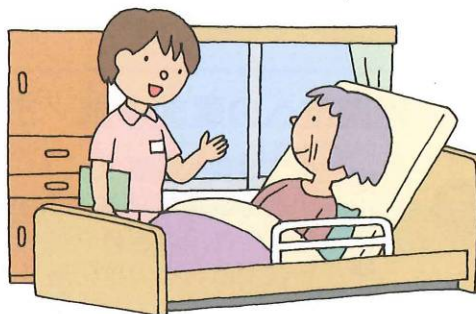
要介護1～5の人

長期の療養を必要とする人のための施設で、医療・看護・介護・リハビリテーションなどが受けられます。

■サービス費用のめやす（1日）

多床室の場合

要介護1～5 ▶ 7,450円～12,510円



公益社団法人全国老人保健施設協会 正・準会員加入状況

正会員数:3,594名(令和2年12月31日 現在)

都道府県別加入状況

No.	都道府県	協会会員		未加入 施設	開設 施設数	※協会 加入率	正会員施設 入所定員数		No.	都道府県	協会会員		未加入 施設	開設 施設数	※協会 加入率	正会員施設 入所定員数	
		正会員	準会員								正会員	準会員					
1	北海道	162	0	22	184	88.0	14,792	①	25	滋賀県	31	0	3	34	91.2	2,565	④
2	青森県	56	0	3	59	94.9	5,023		26	京都府	60	0	9	69	87.0	6,567	
3	岩手県	62	0	2	64	96.9	5,910		27	大阪府	177	0	47	224	79.0	17,140	
4	宮城県	76	0	17	93	81.7	7,611		28	兵庫県	136	0	29	165	82.4	12,828	
5	秋田県	52	0	3	55	94.5	4,952		29	奈良県	52	0	1	53	98.1	4,952	
6	山形県	43	0	1	44	97.7	4,111		30	和歌山県	31	0	10	41	75.6	2,861	
7	福島県	69	0	14	83	83.1	6,569		31	鳥取県	37	0	3	40	92.5	2,869	⑤
8	茨城県	105	0	21	126	83.3	9,709	②	32	島根県	33	0	1	34	97.1	2,435	
9	栃木県	57	0	7	64	89.1	5,242		33	岡山県	77	0	4	81	95.1	6,363	
10	群馬県	76	0	7	83	91.6	6,200		34	広島県	100	0	8	108	92.6	8,041	
11	埼玉県	136	0	27	163	83.4	14,356		35	山口県	58	0	7	65	89.2	4,301	
12	千葉県	130	0	26	156	83.3	13,050		36	徳島県	51	0	1	52	98.1	4,090	
13	東京都	178	0	21	199	89.4	19,649		37	香川県	49	0	1	50	98.0	3,765	
14	神奈川県	161	0	23	184	87.5	17,732	③	38	愛媛県	62	0	3	65	95.4	5,021	
15	新潟県	91	0	7	98	92.9	9,372		39	高知県	28	0	3	31	90.3	1,958	
16	富山県	42	0	4	46	91.3	4,052		40	福岡県	148	0	19	167	88.6	13,486	⑥
17	石川県	36	0	6	42	85.7	3,613	②	41	佐賀県	33	0	5	38	86.8	2,625	
18	福井県	31	0	2	33	93.9	3,001		42	長崎県	55	0	6	61	90.2	4,661	
19	山梨県	30	0	1	31	96.8	2,790	③	43	熊本県	88	0	4	92	95.7	6,408	
20	長野県	80	0	12	92	87.0	7,161		44	大分県	58	0	6	64	90.6	4,365	
21	岐阜県	70	0	5	75	93.3	6,249	③	45	宮崎県	45	0	0	45	100.0	3,353	
22	静岡県	104	0	18	122	85.2	11,342		46	鹿児島県	74	0	5	79	93.7	6,120	
23	愛知県	158	0	23	181	87.3	16,420		47	沖縄県	42	0	1	43	97.7	3,896	
24	三重県	64	0	6	70	91.4	6,332			合 計	3,594	0	454	4,048	88.8	335,908	

※協会加入率＝正会員施設/(正会員施設＋未加入施設)×100

施設立地 環境（大規模災害時）



南海トラフ巨大地震による被害想定

施設名：医療法人新心会介護老人保健施設悠心館（併設型）徳島県阿南市新野町
施設立地：標高29.6m 構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造5階
延べ面積：2,166.7 m²

新野町 周辺 震度6強

【揺れ・津波】

項 目	最大クラスの地震	発生頻度の高い地震・津波
最大震度	7	6強
津波浸水の有無	無し	無し
津波到達時間（30cm）	無し	無し
液状化の可能性	小	小

【洪水土砂災害】

事 象	内 容
河川浸水、洪水	河川から離れており、周辺地域での危険性は低い。
土砂災害（地すべり、山腹崩壊、急傾斜地崩壊）	山からも少し離れて立地しており、危険性は低い。

医療法人 新心会 対応状況 (現状評価)

リスク区分	内 容	可 不可
人 的	・両法人共に地元の職員を多く雇用しており、緊急参集職員も町内なので集めやすい。消防訓練を年2回実施。 ・地元消防団に3名を配置して連携をしている。 ・防災士、防火管理者も職員4名学び、各施設に配置している。年数回危機管理の研修会も参加。	概ね対応可能
必要物	・施設のオムツは2週間分を予備で確保している。 ・燃料は地元ガソリンスタンドと連携して平時より提供を受けている。 ・車の燃料は半分になると常に給油している。	概ね対応可能
人的確保＝概ね可能 部署を越えての初動対応から事業継続へのプロセスが不足している。 多職種共同での訓練が必要。		
その他	中山間部であり、通信機能の不通により、情報の孤立化。 非常時の発電機がなく、電気機器の使用するケアに支障が出る。	心 不可

医療法人新心会 B C P 策定・運用の目的

【患者さん・利用者さん】

医療法人新心会は、有床診療所（１９床）、介護老人保健施設（６０床）、通所リハビリテーション（２６名定員）、訪問看護（２４時間対応）を運営し、医療・福祉サービスを提供している。

南海トラフ巨大地震などの災害発生によるサービス停止は、患者さん・利用者さんの生命の危険や機能低下をもたらす恐れがあるため、災害時であっても命にかかわる最低限のサービスについては継続していく必要がある。

【職員へ】

災害発生時にも事業を継続することにより当法人の経営を健全に保つことは、職員の雇用を守る上で重要である。また、災害時の職員の安全の確保に関しても、今回のBCPの中で併せて検討することにより、職員の安全・安心や法人への帰属意識向上に繋がると考える。

【地域へ】

道を挟んだ併設の社会福祉法人心和会は、阿南市の福祉避難所として指定を受けており、災害発生時には、地域の要援護者を受け入れる拠点となっている。また、地域の様々な行事活動に参加するなど、日頃から地域と協力し活動を行っている。今回のBCPの中で、災害時の対応方法や地域との連携について検討することにより、地域の災害対応力向上に寄与することができ、地域における当法人グループの存在感の向上にも繋がると考える。

医療法人 新心会のBCP基本理念

①職員の安全を守ること。

- ・マンパワー（専門職：医師、看護師、理学療法士、介護福祉士）の安全確保が危機管理の最優先課題

②利用者の安全を守ること。

- ・利用者、患者さんの安全を守ること（入院、入所、通所者を示す）

③医療及び介護サービスの継続を図ること。

- ・有床診療所に求められる医療機能の継続をケアサービス（食事、排泄等）を継続できるように計画する。

④復旧（医療・介護）の早期再開

- ・作成した継続計画に従って、重要な医療業務を速やかに復旧、継続し、介護分野も再開させる。

取り組みのポイント

- 医）新心会が取り組む上でポイントとなること
 - ↳ 医療・福祉と多職種が働いているので、共通の意識を持つ、シェアする。
 - 重要業務を選定する際の考え方
 - ↳ 医療・福祉共にBCP基本理念を全職員に浸透させる。
 - 体制・取り組み方法の考え方
 - ↳ 医療・福祉共同の多職種によるBCP委員会を設置する（PDCAサイクル）
 - 教育・訓練の内容と考え方
 - ↳ 訓練から課題を出していく。
 - ↓
 - 通常の訓練 + α 備蓄食 … 時間軸での対応 
- 今回『初動対応訓練』を実施する!!

医療法人新心会 各事業ごとの事業継続の必要性

事業種別	実施施設	事業の継続の必要性 (患者さんや地域への 影響の大きさ)	事業継続の 考え方
有床診療所	有床診療所 馬原医院（１９床）	大	継続
介護老人保健施設 短期入所療養型	介護老人保健施設 悠心館（６０床）	大	継続 新規の入所は 休止
通所リハビリ	デイケアセンター 悠心館（２６名定 員）	小	休止
訪問看護	訪問看護ひまわり （２４時間対応型）	中	休止

※地域の震災時要援護者は原則受け入れる。

分類	部署	発生直前	発生直後				
		15秒前	10分	30分	1時間	2時間	3時間
体制	介護	※全国情報瞬時入手 警報後、直ちに館内放送・J・ALE・シエイク・アラームの元情報全受診確認	入所者被害者状況の確認 入所者安否確認 救出・救助避難誘導	入所者家族への連絡 町内応援職員到着	手袋・オムツ等 ケア必要品の再確認	被害状況に合わせた優先業務の決定	
	看護		患者被害状況の確認 患者安否確認 救出・救助避難誘導	患者家族への連絡		被害状況に合わせた優先業務の決定	
	リハビリ		利用者被害状況の確認 利用者安否確認 救出・救助避難誘導			被害状況に合わせた優先業務の決定	
	厨房		火の元確認 初期消火			物的な支援の要請・不足品について連絡し、調達を行う	
	受付本部		外来患者等の避難誘導 勤務中全職員安否確認 職員の安否確認へ、町内職員参上する 災害体制への切替(災害対策本部立ち上げ)	情報収集(防災無線・ラジオ・TV等) 施設設備の被害状況 避難路の確保	併設法人との連絡確認		

訓練を通じて
意見を出し合い
相互理解

訓練を通じて
意見を出し合い
相互理解

当法人として3時間後の事業利用者の安全の確保を目標とする。

優先業務を実施する

医療法人 新心会 初動対応訓練

平成27年～2年間 訓練を繰り返す。

※医療法人新心会 多職種共同（医師・看護師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・支援相談員等）を含み行う。

- | | | |
|---------------|---------|--|
| ①シェイクアウト訓練 | } 続けて実施 | ①各サービス提供場所で行う（居室・リハビリ室等） |
| ②安否確認訓練 | | ②多職種共同で行う（ <u>応援スタッフも想定</u> ） |
| ③避難誘導訓練 | | ③冬場でもあり、玄関内までの誘導を行う |
| ④まとめ ディスカッション | | — 午後17時より参加者交代で実施する。
職種により、勤務時間が合わないケースもあり。 |

※老健2Fフロアは、重度患者もおり、今回の訓練は考慮する。

①初動対応訓練（シェイクアウト）



○座布団で頭を守る！

○低く！頭を守る！

※連携した多職種の参加

（利用者さんも守り！自分たちも守る行動！）

②初動対応訓練（安否確認）



○安否リスト表で確認

○居室指示する看護師

※連携した多職種の参加

（他部署からの応援連携を想定したケース）

③初動対応訓練（避難誘導）

現場で使える物を使う!!



○シーツを使って避難誘導

○玄関前の避難場所へ

※連携した多職種の参加

（利用者の状態に合わせた移動手段

（車椅子・歩行器・シーツ等）

④初動対応訓練（ディスカッション）



全52意見あり



付箋色分け

黄色・・・介護職 青色・・・リハビリ職

ピンク・・・看護職 緑色・・・厨房

※連携した多職種の参加

（勤務に合わせて交代して参加をしてもらう!）

医療法人 新心会 多職種共同の訓練

○消防法施行令消防訓練 年2回（内1回 夜間想定）+ α 今回のような訓練

消火訓練



炊き出し訓練



避難誘導訓練



※大切なのは部署を越えた多職種共同で参加する事！！

（医師・看護師・介護福祉士・理学療法士・管理栄養士・調理員等）

より進化した

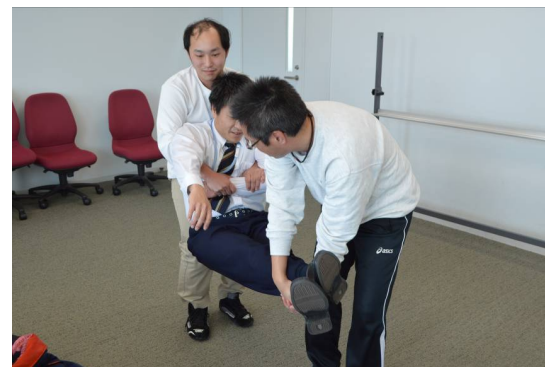
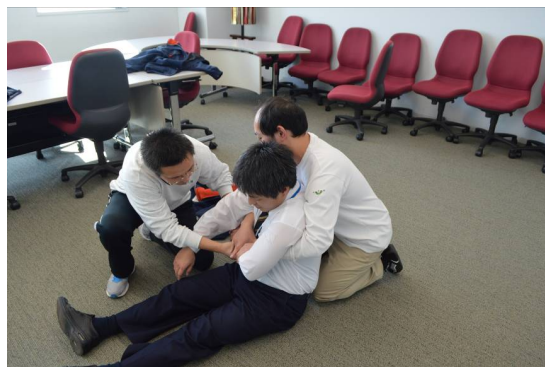
より実践的訓練

福祉施設 × 消防

を行う！

阿南市消防本部予防課 事前研修会

高齢者（寝たきり状態）想定で搬送方法



高齢者（立位可能）想定で搬送方法



※自施設「介護主任」と参加する。

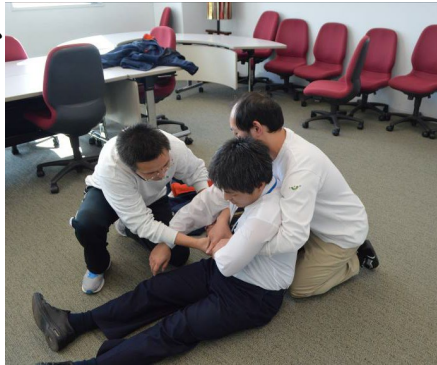
医療法人 新心会 搬送マニュアル

救助者2人で床に倒れている人の搬送方法

1. 床に倒れている場合は、一人が頭部側から両肩の下に膝を差し込む事で上体を起こすことができる。



2. 上体を起こした後、両脇から手を差し込み腕をしっかりと掴む事で、引き上げる際救助者の身体が滑落するのを防止する。



3. 救助者の足をクロスし、もう一人が足を持ち移動をする。

階段等の昇降時は、足側から移動をする。



救助者2人で立位状態からの搬送方法

1. 立位が可能な場合救助者の腕を肩にかけズボンをしっかりと握る。
ズボンを持つことによって、身体がすり抜ける事がなく持ち上げることが出来る。



2. 両サイドからズボンを持ち救助者の腕を交差し、反対側の手を両側から膝下に差し入れて持ち上げる。



3. 救助者の状態を確認しゆっくりと移動をする。



医療法人 新心会 多職種共同の訓練

実際に搬送マニュアルを活用し、
H29年とH30年に実施する。



2F 避難路から女性看護師のみで
搬送の訓練を行う。



野外非常階段から模擬搬送を行う。

H 3 0 . 1 0

当施設水運び訓練

ポリ袋と段ボールを使い、水を運ぶ！

※一般浴槽活用



ポリ袋とシーツ等を使用して水を運ぶ！

※現場職員で訓練



- ◎ローリングストック法で
- ◎水を運ぶ手段を考えておく



の備蓄を！

水の入れ物

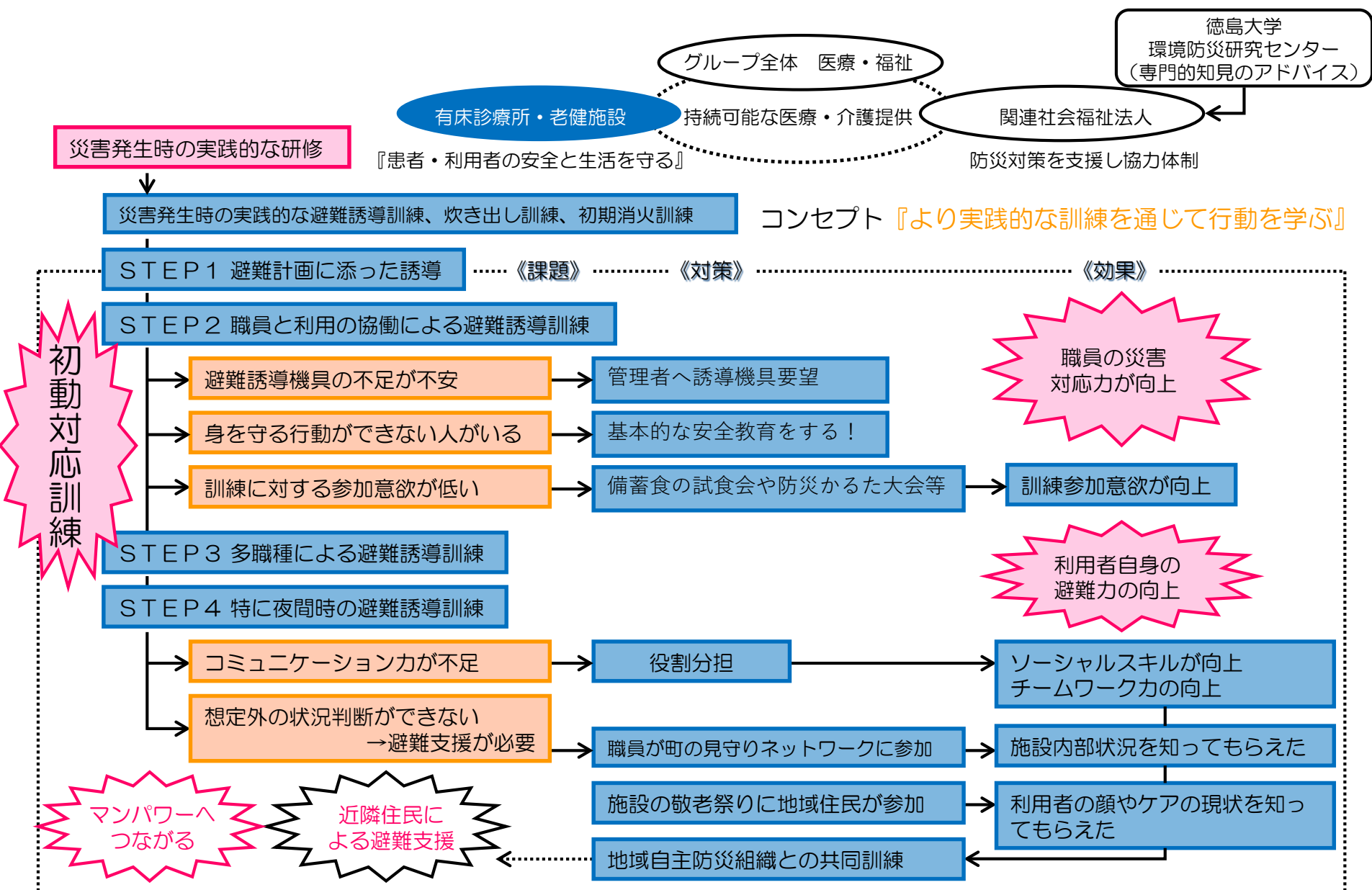
運ぶ方法

- ◎安全な場所に備蓄の分散確保
- ◎災害発生時のメニュー設定
- ◎厨房職員以外の職員での炊き出し
訓練と厨房内の把握

マンパワー

業者応援体制

訓練参加意欲・チームワーク・地域交流へ



新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言

新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成 24 年法律第 31 号）第 32 条第 1 項の規定に基づき、下記のとおり、新型コロナウイルス感染症（同法附則第 1 条の 2 第 1 項に規定する新型コロナウイルス感染症をいう。以下同じ。）に関する緊急事態が発生した旨を宣言した。

記

1. 緊急事態措置を実施すべき期間

令和 2 年 4 月 7 日から 5 月 6 日までとする。ただし、緊急事態措置を実施する必要がなくなったと認められるときは、新型インフルエンザ等対策特別措置法第 32 条第 5 項の規定に基づき、速やかに緊急事態を解除することとする。

2. 緊急事態措置を実施すべき区域

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県及び福岡県の区域とする。

3. 緊急事態の概要

新型コロナウイルス感染症については、

- ・肺炎の発生頻度が季節性インフルエンザにかかった場合に比して相当程度高いと認められること、かつ、
- ・感染経路が特定できない症例が多数に上り、かつ、急速な増加が確認されており、医療提供体制もひっ迫してきていることから、

国民の生命及び健康に著しく重大な被害を与えるおそれがあり、かつ、全国的かつ急速なまん延により国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある事態が発生したと認められる。

新型コロナウイルス特措法 「緊急事態宣言」が7都府県に

本日、新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言が出されます。対象地域は、東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の 7 都府県に、期間は 1 カ月程度が予定されております。

この緊急事態宣言に伴う「施設の使用制限等」の例示として、一部マスコミにおいて「保育所、介護老人保健施設」と報道され、介護保険施設では老健施設のみが使用制限の対象となるような誤解を招いております。しかし、新型コロナ特措法第 45 条の条文では、

第 45 条（抜粋）

当該特定都道府県知事が定める期間において、学校、**社会福祉施設**（通所又は短期間の入所により利用されるものに限る。）、**興行場その他の政令で定める多数の者が利用する施設**を管理する者又は当該施設を使用して催物を開催する者に対し、当該施設の使用の制限若しくは停止又は催物の開催の制限若しくは停止その他政令で定める措置を講ずるよう要請することができる。

となっており、「社会福祉施設」全般がその対象となっております。施行令において「その他の政令で定める多数の者が利用する施設」として、「保育所、介護老人保健施設等」が例示されている為、このような報道になったと考えられます。

「介護老人保健施設」においては、これまで通り、施設サービスを継続いただくこととなります。

なお、通所及び短期入所については、対象地域の知事の方針に基づき、運営いただくこととなります。

会員施設の皆様におかれましては、一層の感染拡大防止対策の徹底をお願い致します。

公益社団法人全国老人保健施設協会<http://www.roken.or.jp/>

訓練はどなたでも実施することができます

消防署では、徳島市民総合防災訓練をはじめ、各自主防災組織や町内会単位での訓練、事業所や学校における訓練など、様々な取り組みに対して支援を行っています。

また、町内会や自主防災組織に入っていない方々についても訓練の相談を受け付けています。災害時に助け合う家族や友人、近隣の方に参加を呼びかけて防火防災訓練を実施しましょう。

訓練に関する要望や相談については最寄りの消防署に連絡してください。

現在、事業所、自主防災組織等で実施される防災訓練については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、自主訓練での実施をお願いしております。訓練の実施方法等については最寄りの消防署までご相談ください。

訓練を実施するときは

訓練を実施するときは防火防災訓練計画届出書を最寄りの消防署に提出してください。

届出書を提出していただくことで、防火防災訓練災害補償等共済制度の補償対象となりますので安心して訓練に参加することができます。

徳島市東消防署

〒770-0855 徳島県徳島市新蔵町1丁目88番地 消防局2階

電話番号：088-656-1195

ファクス：088-656-1205

徳島市西消防署

〒770-0044 徳島県徳島市庄町1丁目76番地の3

電話番号：088-631-0119

ファクス：088-631-3499

コロナ禍における防災訓練 (自施設 令和2年7月15日 実施)



※消防設備点検時に感染対策をして実施

専門職や

業界で考え

備えよう！

（福祉施設の B C P 策定普及活動）

平成30年度 栄養士・調理師研修会

阿集給第18号
平成30年9月20日

各会員施設長 殿

阿南保健所管内集団給食施設協議会
会長 馬原 文彦
(公 印 省 略)

平成30年度 栄養士・調理師研修会の開催について（通知）

日頃は、本協議会の運営に対し御理解と御協力を賜り、ありがとうございます。

さて、本協議会は、給食施設間の連携を密にし、危機管理体制の充実と食の安全・安心を確保するとともに、適切な栄養管理を実施することにより、生涯を通じた食育の推進と給食利用者に並びに地域住民の健康増進に資することを目的としております。

この度、断水時の施設対応についての知見を深め、各施設の災害時対策に役立てて頂くことを目的に、栄養士・調理師研修会を次のとおり開催いたします。

つきましては、お忙しいところ恐れ入りますが、貴所属関係職員の出席について御配慮くださいますようお願い申し上げます。

なお、総会においてご承認頂きました「設立10周年記念品」を、当日研修会会場にて配布させていただきますので、お持ち帰りくださいますようお願いいたします。

- 1 日 時 平成30年11月7日（水）
午後2時から午後3時30分まで（受付 午後1時30分～）
- 2 場 所 南部総合県民局保健福祉環境部（阿南）2階大会議室
〒774-0011 徳島県阿南市領家町野神319
- 3 対 象 給食施設職員（栄養士・調理師・災害対策等担当者等）
- 4 内 容 (1) 講 義「断水時の施設対応について」
講 師 介護老人保健施設 悠心館 次長
災害危機対応マネージャー 青木 正繁 先生
(2) 事例発表・情報交換「断水時における対応と今後の課題」
座 長 介護老人保健施設 悠心館 次長
災害危機対応マネージャー 青木 正繁 先生
発表者
那賀町驚敷学校給食センター 栄養教諭 松本 萬寿美 先生
幼保連携型認定こども園わじきこども園 栄養士 徳永 美恵 先生
介護老人保健施設ケアホーム驚敷 介護主任 原 嘉宏 先生
管理栄養士 藤原 明日香 先生
- 5 申込締切 平成30年10月31日（水）
※別紙申込書によりファクシミリでお申し込みください。

阿南保健所管内集団給食施設協議会
(南部総合県民局保健福祉環境部〈阿南〉内)
事務局担当 田村・城
電話 0884-28-9874 ファクシミリ 0884-22-6404



地震発生！その時 職員の対応は？

場面で考えましょう！

- ①デイルーム…テーブルやソファで過ごしている。
- ②居室で介助中…移乗や排泄の介助をしている。
- ③入浴介助中…複数職員で複数利用者の入浴介助中。
- ④トイレ介助中…トイレ内で1対1の排泄介助をしている。
- ⑤車いすの移動介助中…利用者の車いすを押して移動。
- ⑥エレベーター…移動介助中に利用者とエレベーターに。
- ⑦厨房料理中…調理員が調理している。
- ⑧食事介助中…大食堂またはユニットで食事介助中。
- ⑨夜勤業務中…夜勤帯で利用者が寝ている居室を巡回中。
- ⑩車両運行中…通院介助等で利用者を車に乗せて運転中。



平成30年度徳島県老人保健施設協議会 施設運営部会研修会

徳島県老人保健施設協議会
会 長 手 東 昭 胤
理 事 長 田 蔭 正 治

挨拶 徳島県老人保健施設協議会 会 長 手 東 昭 胤
介護老人保健施設国府リハビリテーションフェニックス 理 事 長 田 蔭 正 治

講演 演 題 「成年後見制度について」
講 師 徳島家庭裁判所 主任書記官 高 木 義 浩 様

講演 演 題 「福祉サービス第三者評価事業について」
講 師 徳島県保健福祉部 保健福祉政策課 地域共生・援護担当 係長 山 田 久 美 子 様

講演 演 題 「現場から考える!!」～老健のBCP～
講 師 介護老人保健施設 悠心館 支援相談員 青 木 正 繁 様

日 時 平成31年2月18日(火) 14:00～16:00
場 所 ホテルクレメント徳島
徳島市寺島本町西1丁目61番地 TEL088-656-3111
担当施設 介護老人保健施設国府リハビリテーションフェニックス
徳島市国府町井戸字左ヶ池39-1

〈お問い合わせ〉

○徳島県老人保健施設協議会
事務局 山 根・廣 瀬
TEL088-674-0024・FAX088-674-5153



第3回 老人保健施設 四国ブロック大会



大会テーマ

「ぞめきのリズム。
四国の老健よ、
一つの連となれ！」

阿波踊りは正調を受け継ぎながらも、「連」というチームごとに思考をこらし時代の変化を取り込んできました。
四国老健も1つの「連」となり、「自立支援・在宅復帰」という正調を守りながら、未来へと続く老健を作り上げていきましょう。

開催日 2019年9月27日(金)
会場 ホテルクレメント徳島

主催 老人保健施設 四国ブロック会

大会長 手 東 昭 胤
(徳島県老人保健施設協議会 会長)

フォーラム

「四国老健の防災・減災」

各パネリスト

徳島県：徳島県保健福祉政策課

課長 頭 師 正 彦 様

愛媛県：介護老人保健施設 ひまわり

事務長 古 川 知 巳 様

高知県：老人保健施設 あうん高知

副施設長 小 松 雅 理 様

香川県：介護老人保健施設 ヌーベルさんがわ

施設長 尾 崎 民 子 様

座長 介護老人保健施設 悠心館

次長 青 木 正 繁 様



今後の活動

- 福祉施設等におけるBCP策定へ向けての意識向上
- 地域防災活動におけるつながり
- 業界人の 受講へのPR

2020

四国防災・危機管理 プログラム

SHIKOKU Disaster Prevention and
Crisis Management Education Program



行政・企業・医療防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(香川大学)

地域社会を構成する自治体・企業・医療機関等の地域組織のリスクマネジメント、事業継続計画BCPやMCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。



行政・企業防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(徳島大学)

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。



学校防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(香川大学・徳島大学)

(今年度の募集は行いません)

地域コミュニティと連携して、学校・地域の防災教育、教育継続計画ECP策定、児童・生徒の安全・安心を守る指導者の育成を目指します。



四国防災共同教育センター

SHIKOKU Disaster Prevention and Crisis Management Education Program

企業

瀬山 淳



平成30年度修了
行政・企業防災・危機管理マネージャー
日亜化学工業株式会社 環境安全本部

受講のきっかけ

私は徳島県の日亜化学工業で、2013年から防災・BCP関係の業務を担当しています。情報収集と勉強のために徳島大学で開催されていたBCP研究部会に参加するようになり、その中で四国防災・危機管理プログラムのことを知りました。当時はBCP策定に向けて何をすべきかわからない状態だったので、とにかく知識を増やしたい一心で会社の了承を得て申し込みました。

受講してみた感想

まず何より危機管理や事業継続の講義を受けることで、BCPを考える下地となる知識を身につけることができました。また、演習で東かがわ市のBCPについて真剣に考えた経験が、自社のBCP策定に役立ったと感じています。さらにありがたかったのは、リスクコミュニケーションやメンタルヘルスの講義を受けられたことでした。災害対応やBCPを考える上で、様々な立場の人との関わり方、合意形成の方法などを学べたことで、私の仕事に対する姿勢は大きく変わりました。

受講を考えている皆様へ

受講前は正直なところ無事終了できるか、学生さんとコミュニケーションを取れるかなど不安だらけでした。ですが、実際に受けてみると、先生方からは実効性のある助言をたくさんいただき、学生さんの私自身とは異なる視点での考えに触れて、とてもいい刺激を受けました。私を成長させてくれた方々に恩返すために、今後このプログラムに関わっていきます。そして、これから受講するみなさんとの出会いを楽しみにしています。

修了後の活動状況

自社の防災・BCP業務に携わりながら、徳島大学環境防災研究センターのBCP研究部会や危機管理実習にて企業の事業継続に関する演習を実施しています。

福祉

青木 正繁



平成27年度修了
行政・企業防災・危機管理マネージャー
医療法人新心会 介護老人保健施設悠心館 支援相談員 (SW)
NPO法人災害・危機対応支援センター監事 阿南防災士の会副会長

受講のきっかけ

私は、介護保険施設サービスのひとつであり、高齢者の自立を支援しリハビリで在宅復帰を目指す【介護老人保健施設】で支援相談員(SW)として勤めています。また、施設の防火管理者も努めており、利用者の安心・安全を守る為に初期消火訓練や避難誘導訓練等を指揮・担当して来ましたが、もっと自身が介護施設における災害対応について学び、介護施設業界でBCPを広めたいとの強い思いから当プログラムコースの受講を決めました。

受講してみた感想

当プログラムを受講し、様々な災害対応について学ぶ場で、年齢や職種、専門性の違う受講生メンバーと更に専門家の先生方と意見を出し合い、被災者支援や行政機関等との連携に対してより良い手順や手法、対応を学ぶ場(機会)に巡り合えたのが自身の防災知識及び技術の向上に繋がったと思います。当プログラム講義の中には災害対応に対するグループワーク討議も数多くあり、私の勤める介護現場の「チームケア」と同じように各部署間での「連携」をする事の大切さも再確認出来ました。学んだ事項を現場で活かして、介護施設業界でのBCP構築へ向けしっかりと活動をして行きたいです。

受講を考えている皆様へ

全国各地で自然災害が頻発しており、特に介護施設業界の皆さん、是非この機会に利用者の安心・安全を守る防災知識の向上に活かすためのプログラムの受講をお勧めします。介護施設で防火管理者など防災・危機管理の部門を担当する方は、防災・危機管理の基本としてプログラムの受講を是非お願いします。

修了後の活動状況

介護施設業界のみならず地域防災においても当プログラムで学んだ防災知識を十分に活かした新たな防災意識向上策等を、共に学んだ仲間(OB・OG)の皆さんと一緒に展開活動して参ります。



「現場から考える川内原発のBCP」

シームレス民泊を前提とした 全国初の『災害協定』締結 (2017年1月)



新野シームレス民泊防災訓練および交流会

平時は民泊で地域活性化を、災害時には配慮を要する方に対する快速避難所に速に目無く切り替わる全国初の仕組み（シームレス民泊）に取り組んでおり、まもなく4軒目のシームレス民泊の開業が予定されています。また、最近、外国人の歩き遍路の宿泊者が増え、災害時には言語コミュニケーションの問題を始め様々な配慮を求められることとなります。

そこで、今回は、外国人宿泊者を想定した避難誘導や応急救護活動等を実施することとしました。民泊オーナーや推進協議会メンバーのほか、留学生を含む徳島文理大学生などが参加し、防災活動の心構えやノウハウを習得することにより、地域の防災・減災に資することを目的に、新野シームレス民泊推進協議会防災訓練を次に開催いたします。併せて、外国人の参加者を含む交流会も開催いたします。

1. 日 時 11月10日(土) 14:00~18:00
2. 場 所 民泊熊猫家(バンダヤ)、森神社境内ほか
3. 主 催 新野シームレス民泊推進協議会
後 援 徳島県・阿南市・徳島文理大学
4. 参加予定 約40人
(協議会会員 15人、文理大生 15人、県・市 10人)
5. 内 容
 - ・開 会 14:00
 - ・会長挨拶
 - ・第一部(民泊熊猫家)
 - ①14:10 ~ 14:30 阿南市消防本部訓練説明
 - ②14:30 ~ 15:20 簡易担架等を用いた避難誘導訓練・消火訓練
 - ・第二部(森神社)
 - ③15:30 ~ 16:30 AED心臓蘇生
 - ・第三部(森神社休憩所)
 - ④17:00 ~ 18:00 パネルディスカッション(訓練の振り返り)
 - ・閉 会 18:00

防災訓練終了後、外国人の参加者を交えての文化交流会を開催します。
※翌朝(11日)には、22番札所平等寺において瞑想体験および谷口副住職による「シームレス民泊とお遍路文化(仮題)」の講演会を予定しています。



民泊オーナーも参加!!



外国人負傷者を毛布担架で搬送

輝け! 徳島「わくわくトーク」

〜シームレス民泊を核とした地域活性化〜

平時は民泊、防災時には避難所という2つのあり方をシームレスに、つまり簡単に切り替える。徳島ならではの制度「シームレス民泊」。
その具現化にこぎついている「新野シームレス民泊推進協議会」では、メンバーの力が集まる民泊を運営したり、または今後の創業を目指す中で、「防災」や「被災者支援」といった新野の地域特性を活かした活動を通じて、地域内外の連携を深める持続的な取り組みを進められていることから、メンバーの皆さんと活動状況や今後の展望について意見交換を行う。

1. 日 時 平成30年7月28日(土)
 - (1) 昼食会 12時30分~13時15分
 - (2) 現地視察 13時15分~14時00分
 - (3) 意見交換会 14時00分~15時40分
2. 場 所 (1) 昼食会 あかりカフェ(阿南市新野町豊田56)
(2) 現地視察 日の丸商店(阿南市新野町馬場11-3)
民泊西川(阿南市新野町片山142)
熊猫家(ばんだや)(阿南市新野町北36)
- (3) 意見交換会 熊猫家
3. 次 第 (1) 昼食会
 - ・簡単な出席者紹介の後、昼食と懇談
 - ・デジタルテレビ撮影なし
- (2) 現地視察
 - ・日の丸商店(シームレス民泊第2号、H29、11開業)
 - ・民泊西川(同第4号、開業準備中)
 - ・熊猫家(ばんだや)(同第3号、H30、1開業)
- (3) 意見交換会
 - ・開会
 - ・趣旨説明
 - ・出席者紹介
 - ・知事あいさつ
 - ・意見交換
 - ・閉会
4. 出席者 新野シームレス民泊推進協議会メンバー 7名
徳島文理大学生 2名



第12回 意見交換：会場 熊猫家



2020.1.18
災害ボランティア

2020.1.16
FMびざん



2019.11.30
プログラム実習FT

2019.9.1
総合防災スピーカー



コロナ禍の「避難所運営・体験訓練」

新型コロナウイルスの感染拡大が危惧される中、大規模災害が発生した場合、避難所でのクラスターによる爆発的な感染拡大が起こるおそれがあり、「過去に例を見ない複合災害」への備えが求められています。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイントを学ぶとともに、夜間の避難所生活を実際に体験していただきます。

○日 時 令和2年8月31日(月) 18:00～
9月1日(火) 10:30

○場 所 県立防災センター

○主 催 徳島県 危機管理環境部 とくしまゼロ作戦課

○プログラム

【1日目】8月31日(月)
18:00～ オリエンテーション

18:15～ 講義
演題 過去に例を見ない「複合災害」への備え
場所 防災センター1階 視聴覚室

19:00～ 休憩・夕食
(備蓄用ご飯・スパゲティ、お茶・水等を準備しています)

20:00～ 避難所設営訓練
内容 パーティションやテント、段ボールベッド等
を用いた設営訓練
場所 体育館

22:00 消灯・就寝

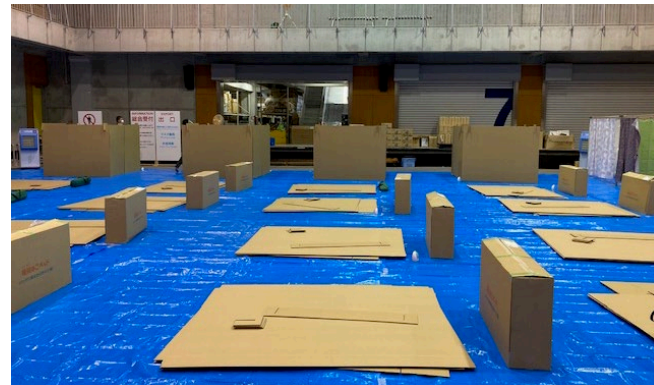
【2日目】9月1日(火)
7:00～ 起床・朝食
(備蓄用ご飯・ビスケット、お茶・水等を準備しています)

8:00～ 避難所感染症対策訓練
内容 避難所の受付や配食等の訓練、
体調不良者の専用スペースの見学
場所 体育館、防災センター2階救命室

10:00～ シェイクアウト訓練
内容 緊急地震速報の直後に慌てず身を守るために
県民が一斉に安全を確保する訓練

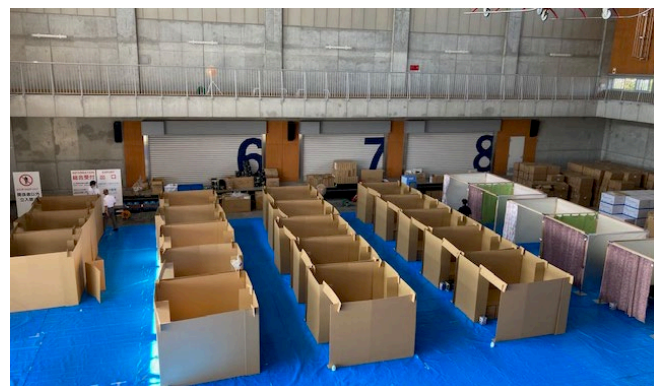
10:10～ 訓練講評

10:30 解散



居住スペース作り

※1人当たりのスペースは4㎡以上、
通路は2m以上確保する。



阿南市からは2名の防災士が参加



令和2年 台風10号時



2020. 9. 6
新野公民館



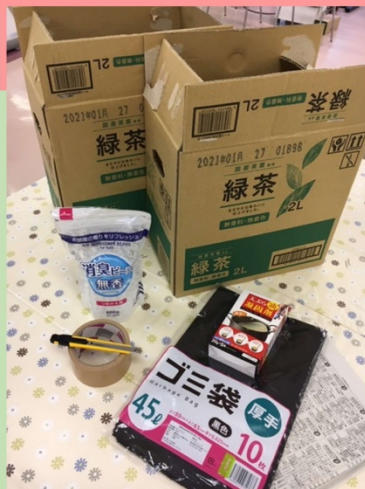
超簡単！！身近な物で作るダンボールトイレ (作成時間 5 分程度)



©2013 ANAN CITY No.222

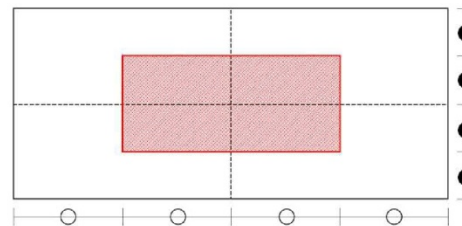
○準備する物

- 同じ銘柄の 2L/6 本入り
ペットボトルケースを 2 箱用意。
- 厚手ゴミ袋※1 • カッター※1
- ガムテープ※1 • 消臭ビーズ※1
- 凝固剤※1
(※1…100 円ショップ等で揃います)



②しっかりと
ガムテープで固定します。

③下図の赤枠の位置に
カッターで穴を開けます。



① 1 つのケースを逆さまにして、
もう 1 つのケースの内側にはめ込む。

👉 内側のケースの角を少し柔らかく
した方がはめ込み易いですよ！



④開けた穴に厚手のゴミ袋
を入れ、その中に凝固剤（無
ければ新聞紙でも OK）を入
れて完成です。

⑤使用後に消臭ビーズ（脱臭
剤）を入れて空気を抜いて、
縛って捨ててください。



監修 青木防災士

作成 : Seto yoshi

阿南ファミリーサポートセンター災害研修会

令和2年10月8日（阿南ひまわり会館）

段ボールでトイレ作り

阿南ファミサポが研修会

阿南市の阿南ファミリーサポート・センターは、大規模災害時に自宅や避難所で使える段ボールトイレを作る研修会を同市富岡町の阿南ひまわり会館で開いた。

乳幼児連れら11組14人が参加して8日に実施。阿南防災士の会の青木正繁副会長(45)「介護施設支援相談員、同市日開野町宮原」が、2歳のベッポトル6本が入っていた空の段ボール箱を使い、作り方を教えた。参加者はガムテープで

固定したり、穴を開けてビニール袋をかぶせたりして仕上げた。

市が作った津波防災マップを使って自宅近くの避難所や避難経路を調べたほか、ラジオや懐中電灯といった備えておくべき防災グッズも確認した。

8カ月の長男と参加した内藤千亜希さん(36)「同市羽ノ浦町岩脇、会社員」は「思ったより簡単にできた。作り方を覚えておきたい」と話した。

(岸和弘)



段ボールトイレを作る参加者—阿南市富岡町の阿南ひまわり会館



徳島新聞

発行所 徳島市中徳島町2丁目
5番地2 (〒770-8572)
徳島新聞社
電話 (088) 655-7373
© 徳島新聞社 2021

2021年(令和3年)

1月13日

水曜日



段ボールトイレを作る児童＝
阿南市新野町の新野東児童ク
ラブ

段ボールでトイレ作り

阿南の児童が防災訓練

阿南市新野町の新野東児童クラブで6日、災害時に使える段ボールトイレの講習会が開かれた。

県内の防災士らでつくる、エフエムびざん(徳島市)のラジオとくしま防災委員会が企画し、児童クラブに通う新野東小学校1～

4年の5人が参加。防災委員会会の青木正繁まさしげ委員長(45)

「阿南防災士の会副会長」の説明を聞きながら、段ボール2箱を使った簡易トイレ作りに挑戦した。完成後、実際に座って強度や使い心地を確かめた。

防災の備品に入っている

懐中電灯やロープなどを確認したほか、阿南光高校の生徒らが開発した防災食カレールを試食した。4年の黒川魁星君(10)は「思ったより簡単にできた。災害時のトイレは心配なので作り方を覚えておきたい」と話した。

(岸和弘)

阿南deひなん（ケーブルTVあなん）現在放送中！



ラジオとくしま防災委員会（B-FM79.1） 令和2年10月1日スタートしました

BFM791 新ラジオ番組 10月スタート!!

ラジオ とくしま防災委員会

徳島で活動を続ける防災士が中心となり立ち上げた“ラジオとくしま防災委員会”。
学校の委員会活動のように、防災をキーワードに防災士や企業・団体の方々が集います。
徳島で暮らすひとひとりが、災害について知り、考え、行動することで、
災害から命を、そして未来を守れるようになるためのラジオ番組です。



毎週金曜日8:00~8:15 ON AIR

毎週木曜日17:00~17:30 ※前週、前々週分を再放送



ラジオを楽しもう

79.1MHz

B・FM791

株式会社エフエムびざん 〒770-8585 徳島市山城町東浜1-1
TEL 088-656-5000 FAX 088-656-0791

ラジオとくしま防災委員会



防災スイッチ、みんなでON!!



毎週金曜 8:00~8:15

〈再〉毎週木曜 17:00~17:30

※再放送は前週・前々週分の
2本放送

ラジオとくしま防災委員会

徳島で活動続ける防災士が中心となり立ち上げた委員会です。学校の委員会活動のように、防災をキーワードに防災士や企業・団体の方々が集います。徳島で暮らすひとりひとりが災害について知り、考え、行動することで、災害から命を、そして未来を守るようになるためのラジオ番組です。

Facebookページにて
とくしまの防災情報発信中!

委員長 青木 正繁

阿南防災士の会 副会長、防災士

はじめまして、「ラジオとくしま防災委員会」委員長の青木防災士です。いつ起こるか分からない災害に備えて!ラジオを通して災害について、知り・考え・行動する事であなたの命を守り!私たちの未来を守ります!ラジオを聴いてあなたの防災スイッチをONにしましょう!ラジオとくしま防災委員会、ぜひ聴いて下さい!

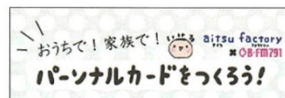
事務局長 瀬戸 恵深

エフエムびざん番組ディレクター・パーソナリティー、ママ防災士

徳島は自然の恵みが豊かな土地。その反面、自然の厳しさとも向き合ってきた土地です。今一度、自分たちが暮らす土地の特性を知り、ひとりひとりが自分の命を守るための行動を考えませんか? ブログ「とくしまの防災知っとく? ~ママ防災士 瀬戸恵深のひとくちメモ~」も運営中です。

家族で作ろう! パーソナルカード

パーソナルカードを作って親子で防災スイッチON!!
エフエムびざんホームページで無料ダウンロード配布中!

パソコンで BFMのHPから→
BFMを聴く このマークをクリックスマホで ① 無料アプリ「ListenRadio」を
BFMを聴く ダウンロード (リスラQRコード→)② 「ListenRadio」を起動→選局→中国・四国→
BFM791(エフエムびざん)を選択

次のチャレンジは・・・



民宿×防災 ビル屋上×防災

スポーツ×防災 福祉×防災

地域×防災 文化施設×防災



ご清聴ありがとうございました。

青木 正繁

PowerPoint 作成 : Seto yoshi